

実務経験のある教員による科目の配置状況

教育内容	科目	単位	時間数	実務経験	授業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業をおこなうか)
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	○	臨地において実務者である実習指導者や専任教員とともに看護を実践し、看護の役割を考えられるよう支援する。
	基礎看護学実習Ⅱ	2	90	○	臨地において実務者である実習指導者や専任教員とともに看護を実践し、患者の状況（変化）にあわせて必要な看護を考え実践できるよう支援する。
	合計	3	135		

令和4年度「臨地実習」

科目名	基礎看護学実習 I	対象年次・時期	1年次後期
単位・時間	1単位・45時間		
科目目標	患者の思いに添い、状態に合わせて日常生活を整える援助の必要性を理解する。		
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の日常生活を整える援助を行うために必要な情報の視点を知る。 2. 患者の日常生活を整える視点・要素を知る。 3. 患者とのかかわりから患者の思いを捉えられる。 4. 患者の日常生活を整えるための援助を安全・安楽・自立の視点をもって行える。 5. 患者の思いに添い、患者の状態に合わせた援助を行う意義が理解できる。 		
実習施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 千葉県循環器病センター ○ 公立長生病院 ○ 袖ヶ浦さつき台病院 		

令和4年度「臨地実習」

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	対象年次・時期	2年次後期
単位・時間	2単位・90時間		
科目目標	刻々と変化する患者の状況に合った援助の実践を通して、患者の願いに向けた看護を実践する過程を理解する。		
学習内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 患者の願いを捉えるために必要な情報の視点がわかる。 2. 患者の日常生活を整える視点・要素を知る。 3. 患者とのかかわりから患者の思いを捉えられる。 4. 患者の日常生活を整えるための援助を安全・安楽・自立の視点をもって行える。 5. 患者の思いに添い、患者の状態に合わせた援助を行う意義が理解できる。 		
実習施設	<ul style="list-style-type: none"> ○ 千葉県循環器病センター ○ 公立長生病院 ○ 東千葉メディカルセンター ○ がんセンター 		